

平成 3 0 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

## は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき22市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成30年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、御協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成31年3月

青森県農林水産部長 高谷 清孝

## 目 次

調査の要領	1
結果の概要	2
対前年比較表	
第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表 (対前年比)	10
第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表 (対 5 カ年平均比)	12
第 3 表 月別漁獲数量比較表	14
第 4 表 月別漁獲金額比較表	14
第 5 表 分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表 分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表 市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表 市町村別漁獲金額比較表	21
県計表	
第 1 表 年 総 括 表	22
第 2 表 月 別 表	36
市町村計表	
第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額	71

# 調 査 の 要 領

## 1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

## 2 調査時期

毎 月

## 3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

## 4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

## 5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

## 結果の概要

### 1. 漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 概況

平成 30 年の青森県の漁獲数量は 216,706 トン、漁獲金額は 455 億 4,569 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で 10,473 トン (5.1%) 増加し、漁獲金額では 115 億 5,778 万円 (20.2%) 減少した。

#### (2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して増加した主な要因は、「まいわし」、「ほたてがい」、「さけ」等の生産量が増加したことによるものである。

漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、記録的不漁であった「するめいか (近海・生/近海・船凍)」の漁獲数量がさらに減少したこと、また近年高騰していた「ほたてがい」の単価が平年並となったことによるものである。

#### (3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較すると、漁獲数量で 5,373 トン (2.4%) 減少し、漁獲金額では 77 億 330 万円 (14.5%) 減少した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲数量対平年比 279.1%)、「あかいか」(134.8%) 等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「すけとうたら」(15.0%)、「するめいか」(39.9%)、「たら」(58.2%)、「ぶり」(61.8%) 等であった。

#### (4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 30 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 16,214 トン (7.0%) 下回っており、金額で 57 億 3,618 万円 (11.2%) 下回っていた (図 1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,243	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,492	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,844	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,638	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,026	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,654	△ 0.1	63,530	20.0
平成29年	206,233	△ 17.4	57,103	△ 10.1
平成30年	216,706	5.1	45,546	△ 20.2
平成20年～平成29年 までの平均 (A)	232,920		51,282	
平成30年／(A)%	93.0 %		88.8 %	

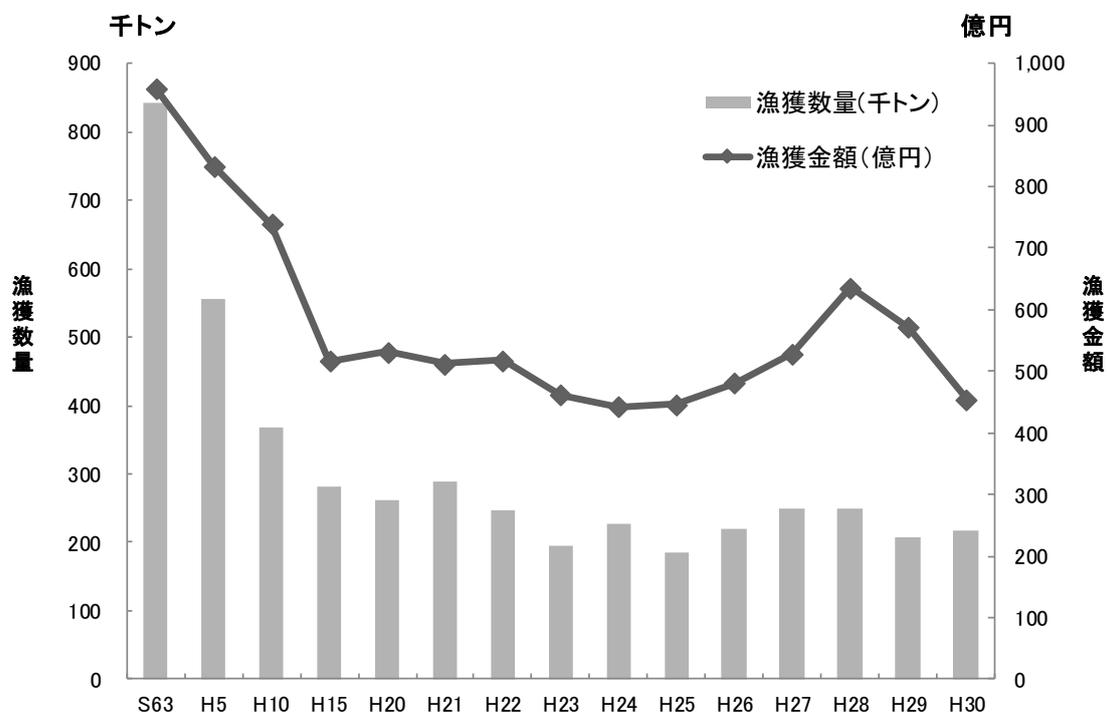


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

## 2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 月別漁獲数量

平成30年の漁獲数量を月別にみると、7月が38,914トンで最も多く全体の18.0%を占め、次いで11月の27,429トン（12.7%）、6月の26,027トン（12.0%）となっている（図2、第3表）。

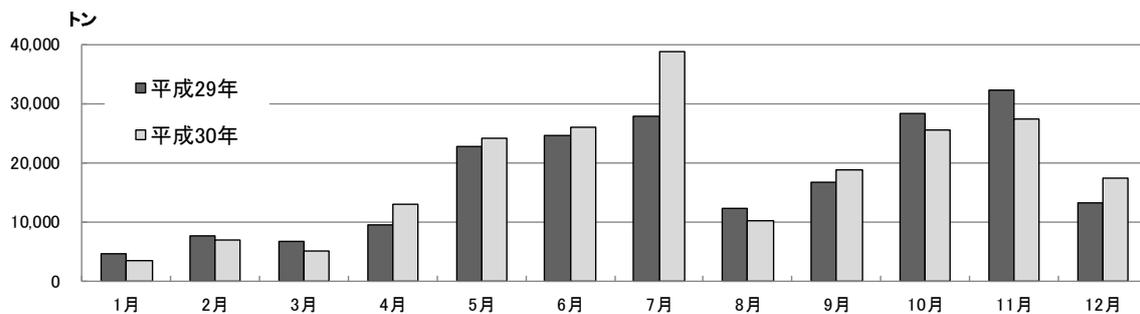


図2 月別漁獲数量

### (2) 月別漁獲金額

平成30年の漁獲金額を月別にみると、7月が64億3,754万円が最も多く全体の14.1%を占め、次いで11月の61億9,187万円（13.6%）、6月の47億9,969万円（10.5%）となっている（図3、第4表）。

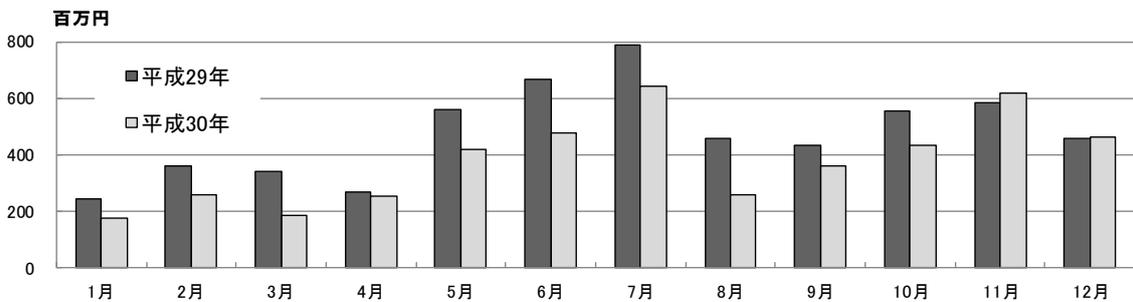


図3 月別漁獲金額

### 3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

##### ①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、まいわし等の「魚類」が 106,465 トンで最も多く全体の 49.1%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」86,060 トン(39.7%)、「その他の水産動物」22,259 トン(10.3%)、「藻類」1,922 トン(0.9%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 10,551 トン(11.0%)増加、「貝類」は 4,762 トン(5.9%)増加、「その他の水産動物」は 4,461 トン(16.7%)減少、「藻類」は 379 トン(16.5%)減少した(図4、第5表)。

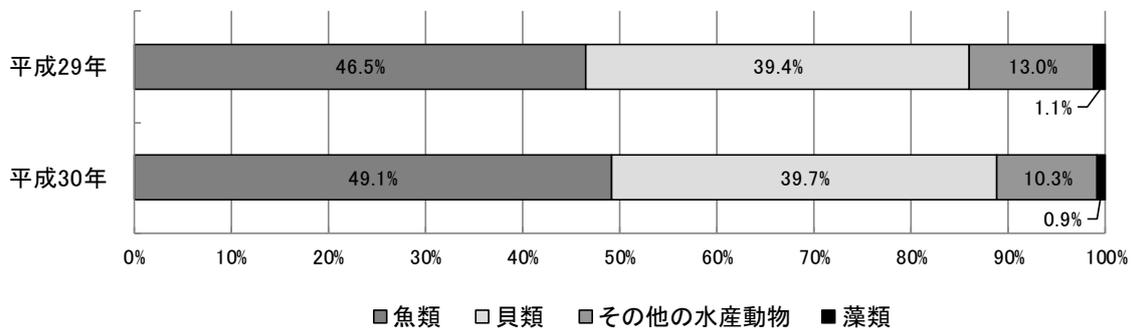


図4 分類別漁獲数量の構成比

##### ②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「魚類」が 158 億 5,967 万円で最も多く全体の 34.8%を占め、次いで「その他の水産動物」145 億 5,033 万円(31.9%)、「貝類」143 億 2,202 万円(31.4%)、「藻類」8 億 1,367 万円(1.8%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 7 億 1,801 万円(4.3%)減少、「貝類」は 77 億 2,758 万円(35.0%)減少、「その他の水産動物」は 28 億 3,600 万円(16.3%)減少し、「藻類」は 2 億 7,619 万円(25.3%)減少した(図5、第6表)。

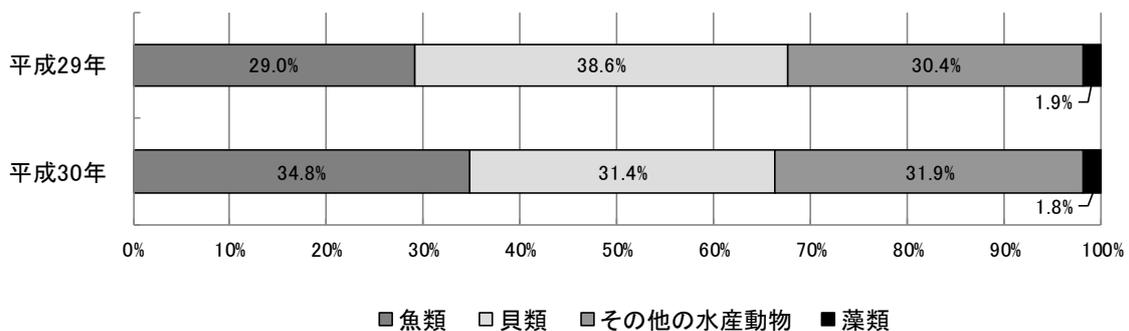


図5 分類別漁獲金額の構成比

## (2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

### ①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」85,286トン（構成比39.4%）、「いわし類」47,179トン（21.8%）、「さば」38,872トン（17.9%）、「するめいか」12,429トン（5.7%）、「あかいか」4,631トン（2.1%）、「さけ」4,243トン（2.0%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「いわし類」14,676トン（対前年増加率45.2%）、「ほたてがい」4,756トン（5.9%）、「あかいか」519トン（12.6%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「するめいか」51,678トン（対前年減少率29.4%）、「さば」3,033トン（7.2%）、「すけとうたら」1,105トン（64.8%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

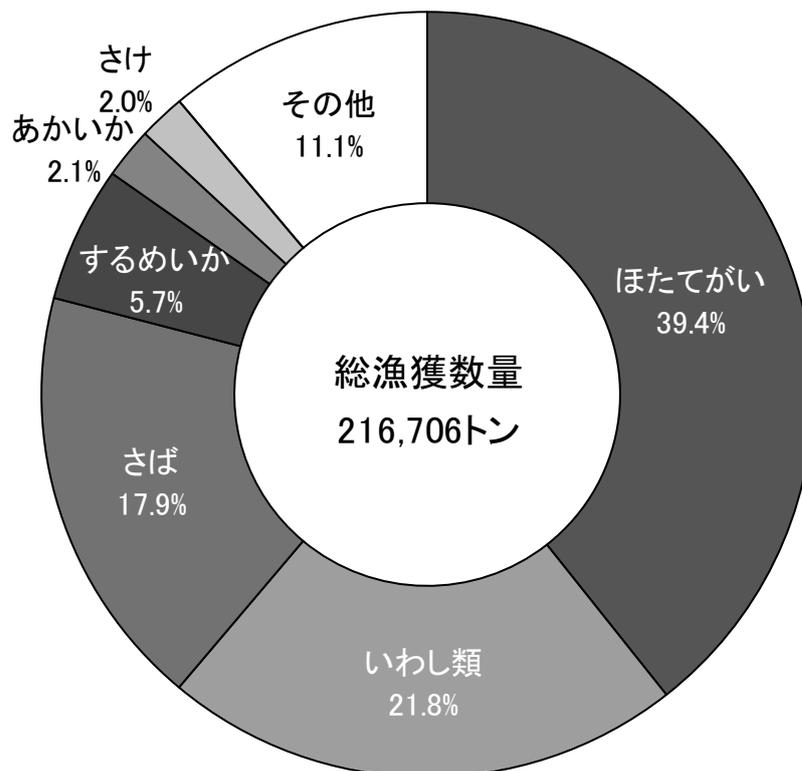


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

## ②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」138億1,988万円（構成比30.3%）、「するめいか」67億2,782万円（14.8%）、「さば」41億8,546万円（9.2%）、「なまこ」27億8,398万円（6.1%）、「さけ」22億6,614万円（5.0%）、「あかいか」20億6,068万円（4.5%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「さば」4億7,759万円（対前年増加率12.9%）、「いわし類」4億7,413万円（39.1%）、「なまこ」1億8,076万円（6.9%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「ほたてがい」77億3,462万円（対前年減少率35.9%）、「するめいか」30億7,497万円（31.4%）、「まぐろ」6億4,585万円（25.2%）、「さけ」3億8,495万円（14.5%）、「たら」2億1,305万円（17.1%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

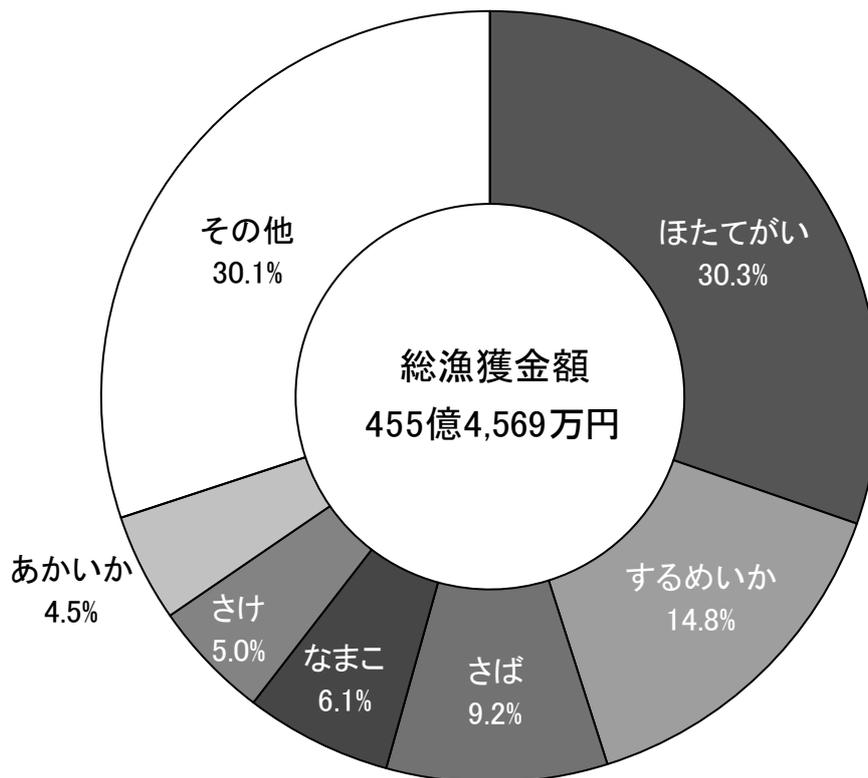


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

## 4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「まき網漁業」が86,399トン（構成比39.9%）で最も多く、次いで「養殖業」84,936トン（39.2%）、「いか釣漁業」12,604トン（5.8%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「まき網漁業」11,216トン（対前年増加率14.9%）、「養殖業」7,309トン（9.4%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「いか釣漁業」2,912トン（対前年減少率18.8%）、「刺網漁業」1,899トン（52.9%）、「沖合底曳網漁業」1,290トン（14.9%）などとなっている（第9表）。

### (2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が137億3,482万円（構成比30.2%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」67億6,879万円（14.9%）、「まき網漁業」62億769万円（13.6%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「一本釣漁業」1億6,737万円（対前年増加率8.5%）、「棒受網漁業」1億3,854万円（88.6%）、「小型機船底曳網漁業」6,228万円（4.2%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」68億8,519万円（対前年減少率33.4%）、「いか釣漁業」19億1,329万円（22.0%）、「小型定置網漁業」4億6,109万円（13.3%）などとなっている（第10表）。

## 5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が108,004トンで最も多く全体の49.8%を占め、次いで平内町18.6%、青森市7.2%、外ヶ浜町5.0%、むつ市4.3%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、八戸市8,488トン(8.5%)、青森市4,064トン(対前年増加率35.5%)、蓬田村2,866トン(114.1%)、平内町896トン(2.3%)、外ヶ浜町852トン(8.5%)ほか4市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、むつ市1,773トン(対前年減少率15.9%)、横浜町1,360トン(17.8%)、野辺地町1,134トン(25.7%)、深浦町681トン(13.7%)、三沢市604トン(26.4%)ほか8市町村となっている(図8、第11表)。

### (2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が166億5,838万円で最も多く全体の36.6%を占め、次いで平内町15.4%、むつ市8.1%、東通村5.4%、青森市5.4%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、蓬田村1億6,755万円(対前年増加率26.7%)、鯨ヶ沢町8,821万円(19.9%)、中泊町8,046万円(12.6%)、今別町1,034万円(11.8%)となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、平内町32億7,891万円(31.9%)、むつ市16億6,398万円(対前年減少率31.1%)、八戸市15億9,031万円(8.7%)、横浜町13億5,555万円(44.4%)、野辺地町7億7,686万円(44.8%)ほか13市町村となっている(図9、第12表)。

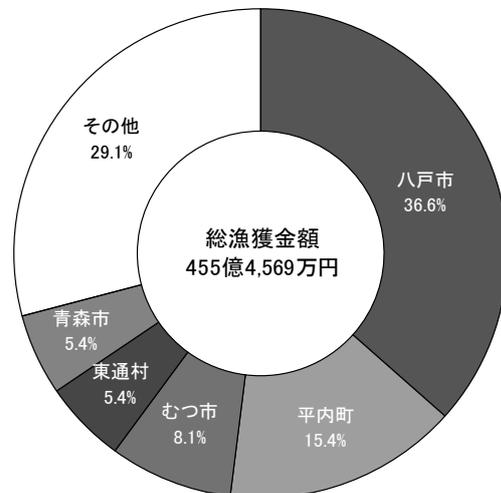
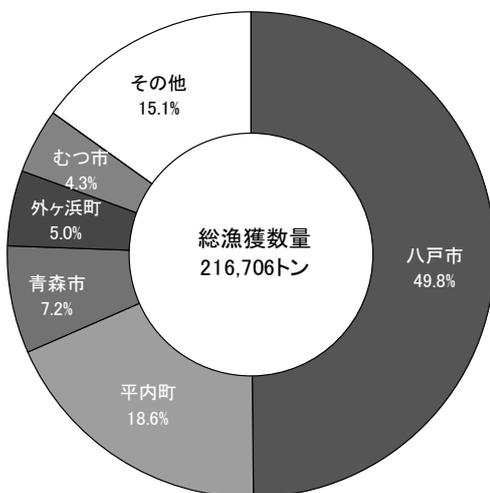


図8 市町村別漁獲数量の構成比

図9 市町村別漁獲金額の構成比